

Un jour

アンジュール

「アンジュール」は仏語で「ある日」の意味です

特集

新幹線がやって来る！

男女が共に生きやすい 社会づくりにつなげよう！

12月4日、いよいよ新幹線が青森までやってきます。

「おもてなしの心」で迎えようと、青森市内では様々な企画が実行されています。観光面ではどうなのか、また経済効果はどうだろうと、熱く語られたり取り組まれたりもしています。

アンジュールでは「男女共同参画」をキーワードに東北新幹線全線開通を考えてみることにしました。

募集します

「新幹線とかけて男女共同参画と解く その心は…」…を埋めてください
募集期間：平成22年12月28日
応募方法：ハガキかファクスで男女共同参画室へ(4面参照)
*お寄せいただいた作品はアンジュールでご紹介の予定です。

←新幹線開通100日前イベントで「新幹線喜び音頭」を踊る市民の皆さん。(=青森市駅前広場)。後方の建物5・6階には青森市男女共同参画プラザがあります。



ニュースの



APEC 女性リーダーズネットワーク (WLN) 会合 日本初の開催 ～男女共同参画社会実現に向けて～

APEC(アジア太平洋経済協力)は、アジア太平洋地域の21の国と地域が参加する経済協力の枠組み。今年、日本は初めての議長国となった。

APECの関連の会合の一つにWLNがある。APECに加盟する産業界、学界、行政、民間団体などの女性リーダーからなるネットワークだ。毎年APEC議長が持ち回りで開催している。目的は、男女共同参画社会の実現のために女性たちの経済活動の発展に寄与すること。1996年にフィリピンで第1回会合が開催されて以来、延べ4,000人を超える女性たちが参加した。経済活動における女性の活動への意見交換や情報交換を行う国際交流の場となっている。

2010APECWLN会合は、9月19日から21日まで東京での開催。「組織における女性のキャリア構築」とした分科会や3つの基調講演、3つのパネルディスカッション、エクササイズなど、多彩なプログラムが企画された。

●女性の悩み相談カダール相談室●

パートナーからの暴力で悩んでいる、自分自身の生き方や家庭のことで相談したいなど、あなたが抱えている悩みを相談員がお聞きします。

毎週月・木(祝日・年末年始・休館日を除く)
○電話相談 ☎017-776-8850
○面接相談 10:00～12:00
13:00～16:00
*面接相談は予約が必要です。
平日9:00～18:00 ☎017-776-8858

<発行>

青森市市民生活部市民協働推進課
男女共同参画室
〒030-8555 青森市中央1-22-5
☎017(734)2296 FAX017(734)5232
<編集スタッフ>
企画集団プティジュール：白井壽美枝
藤川あきつ・沼田久美・阿部美智子

転載希望の方はご連絡ください。

今年も10月は 青森市男女共同参画都市宣言記念月間

平成8年10月22日
青森市は全国8番目の
宣言都市になりました



昨年の月間事業から

今年のテーマは「つなぐ」。男女共同参画プラザ「カダール」が主会場です。

- * オープニングセレモニー 1日(金)15:30～16:00 AV多機能ホールホワイエ
- * 乳がん啓発ピンクリボンウォーク in あおもり 2010～あなたとあなたの大切な人を乳がんから守るために～ 1日(金)16:00～ アウガ～新町～アスパム
ウォーク終了後、県観光物産館アスパムのピンクライトアップ点灯式18:20
- * 「青森・温故知新塾」第2回 5日(火)19:00～ (青森市働く女性の家)
- * 縄文の杜あおもりツアーテーマチ 17日(日)9:10～ 三内丸山縄文時遊館
- * 女性メンター養成講座 17日(日)10:00～16:00 研修室
- * 女性史と音楽史を歌で彩るコンサート 21日(木)13:30～15:30 AV多機能ホール
- * シンポジウム「男女(ひと)を変え、地域(まち)を変え」 24日(日)13:00～15:00
- * じゃらん・じゃらん展「みんなで踊ろう、新幹線喜び音頭」 24日(日)15:15～
- * Women'sライブラリー 1日(金)～31日(日) (市民図書館)
- * 市内幼稚園児「大好きな人の絵」展示 9/30～10/31 (新町アートパネル)
- * 大きなピンクリボン展示 9/29～10/31 インナーパーク

アンビュールのSHIRAIさん

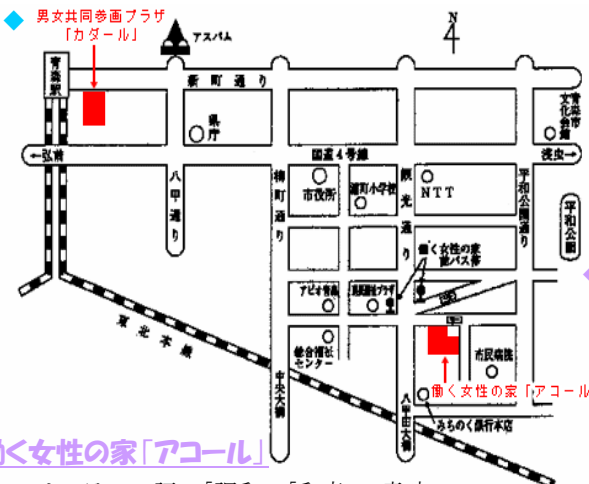
私にも言わせて：新幹線開通
東京以前の講座やフォーラム等で、「大学院に行き始めたの。おもしろいわよ」「私は大学に入りなおしたの」と言う女性たちにたくさん会いました。彼女たちは、研究へ、仕事へ、パージョンアップして進んでいっています。もちろん、ネットワークもどんどん広がっています。新幹線開通で、青森の女性たちにもこんな話題が増えるかしら。
芸術もファッションも：増える私育てのチャンスがうれしい。
■ 視聴率の高いドラマが人気？
「視聴率の高いドラマの共通項は、専業主婦の登場か」という分析をみつけました。若い女性に専業主婦志向という指摘もあるが、それだけではないみたい。がんばらなくちゃで日々仕事して疲れた女性が癒されているのだから？ これでもいい？

●青森市男女共同参画プラザ「カダール」

「カダール」は津軽弁で仲間になるという意味の「カダル」と、共に語り合うという2つの意味を表現。市民のみならず男女共同参画社会づくりをすすめていくための拠点です。
〒030-0801 青森市新町1-3-7 アウガ5F・6F

◆カダール◆

【開館時間】
9:00～22:00
【休館日】
毎月第2水曜日
【電話】
017(776)8800
【FAX】
017(776)8828



●青森市働く女性の家「アコール」

「アコール」はフランス語で「調和」・「和音」の意味。社会参画に取り組むすべての女性を応援し、お手伝いする施設です。女性はもちろん、男性も利用できます。
〒030-0821 青森市勝田1-1-2

「男女共同参画都市」青森宣言

私は私を大切に思うのと同じ重さで
あなたを大切に思う

性別を超え
世代を超え
時代を超え

人と協調し 人を信頼できる
誇り高い人間でありたい

すべての人の自立と平等をめざして
青森はここに「男女共同参画都市」を
宣言します。

平成8年10月22日 青森市

2010.9.20 No.37

アンジュール的 私の言の葉

・「くるみマーク」つてあるんです。厚生労働省が認定し、「次世代育成支援認定マーク」ともいいます。青森市の認定企業を調べてみたら、8月中旬は、なかつた。残念！(40代・子育て中のママ)

・青森はねぶただけじゃないよ！三内丸山遺跡に、自然も農産物も海の幸も。ほらね、たくさん。我が故郷の素晴らしさを、市民みんなで見せようよ。(20代・青森大好き娘)

・何十年もかかって、やっと開通する「新幹線」。計画された頃の社会と、今の社会では大きく違ってしまったが「新幹線」で東京に行ける！何十年来の市民の夢がかなって嬉しいです。(70代・ずーっと新幹線を待っていた男)

・「くくるみマーク」つてあるんです。厚生労働省が認定し、「次世代育成支援認定マーク」ともいいます。青森市の認定企業を調べてみたら、8月中旬は、なかつた。残念！(40代・子育て中のママ)

・「就職活動に疲れきった娘は、婚活(結婚相手募集)に切り替えました。まだまだ、厳しい経済情勢だけど、これって、絶対違うよね!!(50代・怒れる母)

・「子育ては本当に大変！今の働き方や社会では子育てを親だけが担うのは辛いよ！10年前に介護保険が導入「介護を社会で担う」ようになった。同様に社会が子育てする社会を目指す「子ども・子育て新システム」が平成25年度から実施予定。仕組みが大きく変わろうとしていることをちゃんと見ていないと...(40代女性・子育て支援者)

・青い空が、生活の中にあるって幸せです！人の暮らしの中に、自然がいっぱい！何より私たちが、生き生き暮らしている青森は素敵！青森で生きることが、私の誇りです。(50代・背筋を伸ばして凛と生きたい女)



新幹線がやって来る！ 男女が共に生きやすい社会づくりにつなげよう



「男女共同参画社会をつくる—それは、女性にとっても男性にとっても生きやすい社会をつくること」。男女共同参画会議は7月に出した「第3次男女共同参画基本計画策定にあたっての基本的な考え方」のはじめに、こう掲げました。

さて、東北新幹線全線開通も、私たちが生きやすい社会づくりの一翼としたい。様々な視点から考えてみることにしました。



新幹線全線開通と男女共同参画？

アンジュールはこう読みました

男女共同参画社会の実現に向けての取組みは、国際連合を中心とした「平等・開発・平和」という目標達成のための世界規模の動きと軌を一にして進められてきました。新幹線開通も「平等・開発・平和」とつながるのではないのでしょうか。多様な立場の人が、職や医療や学問などのチャンスを得る。産業界の力が今まで以上に開発される、そして新幹線を利用してライフワークも充実する平和な社会を持続することに一人ひとりが努める。こんなことが考えられます。

新幹線全線開通を男女が共に生きやすい社会づくりにつなげましょう。

青森から東京に出張に来るたびにいつも思った。平日の新幹線や飛行機はビジネススーツに身を包んだ男性ばかりが目立つなあ。新幹線開通に伴い、もっと色々な顔ぶれが増えるといいと思う。学生や主婦や仕事から退いた人。色々な人の中で「今日は有楽町でセミナー」「今日は六本木の美術館に」そんな会話が飛び交って欲しいと思う。それが決して贅沢ではないということに気付いて欲しい。そんな場所に身を置くと、そこにかけた対価以上のものが得られるはずだから。青森の人はとても優秀な人が多いのに「自分を磨く」ことには慣れていないのかもしれない。だから気付いて欲しい。自分にはまだまだ可能性があるということ。新幹線は青森の人の夢と可能性を運んでくれると私は信じている。

夢と可能性を乗せて

キャリアアカウンセラー

工藤 倫子



新幹線とDVに共通するのはトンネル？なぜなら出口は人とつながること、明るい暮らしへの扉が開かれると思うからです。私たちは、重大な人権侵害であるDVをはじめ、女性に対する暴力の被害者支援、予防教育、調査研究等の事業を行ってきました。東北で2番目のシェルター運営には、前理事長・故三上久美子さんの命をかけた日々があったことを忘れません。

はやぶさで先見の明を

NPO法人ウイメンズネット青森

理事長 鹿内 文子



最近DVに混在している児童虐待問題もあります。被害者に寄り添った支援がスムーズに行われるように、新幹線効果で広域連携のネットワークが推進されることを期待しています。来年の全国シェルターネットワークシンポジウムは、仙台で開催される予定です。先見の明を「はやぶさ」に乗って学びませんか。

東北新幹線全線開通



私の視点

全線開通により何が変わるか、何を变えたか

「もつともつとあおもりファンをつくらう！」をコンセプトに起業した蒔苗さん、今年4月に活動拠点を青森から東京に移した工藤さん、ドメスティック・バイオレンスに取り組んできた鹿内さんからのショートメッセージです。

意識を持ち続けることの大切さ

The企画エルサーチ株式会社

代表取締役 蒔苗 正子



人も組織も外からの刺激をきつかけに変わったり、新たな展開を発見することがあります。残念なことに外からの刺激がないと気づけなかったり、内部の声には耳を傾けないが外部からの声には敏感に対応できたりするものです。東北新幹線の全線開通後に広がる人や文化・情報の交流によって、私たちが刺激を受ける場面は増えることでしょう。結果、個性的な起業をする人には増えてほしいと思います。また、外部からの声があふくことで市民議論が起きる、なんてこともあるかも知れません。その際にどんな議論を展開するのか、市民の知恵が問われることでしょう。例えば、「誰もが役割や個性を自然に選択できる青森」がテーマとなるかも知れません。「活かしたい」と意識を持ち続けることが大切だと思っています。

私にも言わせて...



「青森を代表しよう」

今まで学会や旅行で何ヶ所か訪れて印象が強いのは風景でも、食べ物でもなく、なぜかタクシー運転手の対応である。どんなに素晴らしい自然や食事をアピールしても、やはり人なのだ。場所柄、当クリニックは県外の患者様が来院されるが、勝手ながら私も青森代表の一人として接する様にしている。(あおもりペイクリニック副院長 大出華子)

「わたしたちも利用者」

アンケート結果から

昨年10月、ネットワークA・Lでは「新幹線開通に関する身近な市民アンケート」を実施。回答250名。「出かけやすくなる」「一度は乗ってみたい」と、利用者としての期待と喜びの声が多かった。新駅までの交通手段は家族の送迎も含む自家車利用が一番多く、以下はバス、タクシー、電車の順。便利になるといいなあ。(ネットワークA・L 滝淵志津子)

「魅力発信」

魅力いっぱいの中で生活しているのに、青森の素晴らしさに気づいていない人が多いようです。視点を変えて周りを見渡してみるときっと発見できるはず。ここに住む私たちがだからこそ言える魅力スポットを他の人に伝えてあげましょう。小さな力も皆が伝えると大きな「おもてなし」です。(小原流いけ花・豊扇会代表 伊藤豊扇)

こんな取り組み あんな取り組み



◆新幹線喜び音頭

「開業までの節目節目に、この『新幹線喜び音頭』を披露して、できるだけ多くの方に関心を持っていただきたいと思います。特に一般主婦層に働きかけることで、12月に起こる青森県にとっての世紀の大出来事に気持ちを高めていただければ(会長の白鳥淳子さんと)、青森民謡研究会のみなさんは市内を飛び回って広めています。9月26日(日)のアルコールフェスタ(11:20)、10月24日(日)の青森市男女共同参画都市宣言記念月間事業「じゃらん・じゃらん展」でも披露目します。みんなで踊ってみませんか。作詞作曲 小倉尚継 歌 鳴海としえ 振付 青森民謡研究会

「歌詞から」
夢が広がる 青森の空
縄文時代も同じこと
人の行き来のある所
幸せ 喜び
花咲き匂うでしょう



(写真)9月14日現在の新青森駅、撮影協力:松山佳子

◆ラブ青森サポーター

新幹線で訪れる方々を温かくお迎えしたい。そのためには、私たち自身が青森市の魅力を十分に理解し、「まち」に誇りと愛着を持たなくては! 「青森の魅力の発信者集合!」に、名乗りを上げた市民は149人(8月25日現在)。イベントのお手伝い、青森の魅力やおもてなしの必要性を口コミで伝えるなど、また「この対応はよくない。こうしたら改善できる」というポイント教示を取入れた冊子づくりなど、様々な活動があります。資源を磨き、「住んでいたい」感のアップにつなげようという取り組みでもあります。活動期間平成24年3月末まで。会員登録はしなくても、みんなで、魅力の口コミ発信者になりましょう。

問合せ先 新幹線開業対策課 017-734-2319



◆まだまだあります

その他にも、市内の主な観光地を巡回する「あおもりシャトル」や「一路青森」のフラッグや新幹線開業応援ソングCD「サエラ」恋して青森、東琢磨「一路青森」君は今、旅人の貸出も行っています。また、のつけ井・味噌カレー牛乳ラメン・寿司クーポン等、「美味しい青森」もしっかりPR中です。問合せは右記の新幹線開業対策課

